※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1004 |
|---|---|

# 令和５年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 科学探究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 使用しない | | | | | | |
| 副教材等 | 使用しない | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書で学習する理科とは少し違った動物調べや水耕栽培の探求などをメインにした内容の授業です。様々な調べ学習や探究とそれに伴った実験などを行い、成果をパソコンやポスターなど様々な形で発表してもらいます。
・座学の授業とは異なりテストはありませんが、日々の授業の取り組みや発表を見て評価をしますので、欠席しないように積極的に授業に参加しましょう。

## 2　学習の到達目標

(1)科学における仮説の立て方や実験・考察の手法や技術を身につける。
(2)多くの情報から必要なものを判断し、それらをまとめて他人に説明できる表現力を養う。
(3)未知の現象や事象に対し、主体的に探究し科学的な興味・関心をもてるようになる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 科学的な現象について基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。<br>科学的な事象や現象に関する観察・実験技術を身に付けている。<br>探求･観察･実験の結果及び結果から導き出した考えを的確に表現することができる。 | 科学的な事象全般に対して実証的・論理的に考え、科学的な判断ができる。事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。 | 科学的な事象全般に関心や探究心を持ち、主体的に探求しようとする姿勢を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 調べ学習 | 自己紹介<br><br>科学分野で興味のあることについてプレゼンテーション | a:　自らのことを他人にわかりやすくまとめ発表資料を作ることができる。<br>b:　自らのことを他人にわかりやすくまとめ発表することができる。<br>c:　自らについて興味を持ち発表や準備に取組むことができる<br>他の生徒の発表を元に自身の発表をより良いものにしようとする。 | プレゼンテーション | 発表原稿とプレゼンテーション資料の作成 | 発表への取り組み意欲 |
| | | 動物調べ | a:　自らが調べた題材についてわかりやすくまとめ発表資料をつくることができる。動物に調べる過程でその動物について知識理解を深める。<br>b:　得た情報を取捨選択して、まとめることができる。<br>c:　自らの題材について興味を持ち調べることができる | プレゼンテーション | 発表原稿とプレゼンテーション資料の作成 | 発表への取り組み意欲 |
| 2 | 植物の育成と研究 | 植物の育成 | a:　植物の生育に必要な情報を理解できる。<br>b:　育てる中で植物の生育に必要な情報を考え行動できる。<br>c:　積極的に植物の世話をできる。 | ワークシート | 観察記録<br>レポート | 植物の管理 |
| | 化学製品の作製 | セッケンの制作<br>入浴剤つくり | a:制作するものの化学的な性質や変化を理解できる。実験計画を立てることができる。<br>b:物質の変化の様子や実験の結果を記録し考察ができる。<br>c:自ら考えテーマ設定をし，実験計画を立てることができる。 | ワークシート・実験の技能 | レポート | テーマ設定，実験計画書の作成。 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 動物の体 | 動物の体のつくり<br>（解剖） | a:動物の体のつくりや器官の役割が理解できている。<br>適切に器具を使用することができる。<br>b:観察したものを適切にスケッチや言葉で記録することができる。<br>c:準備片付け等を進んで行うことができる。 | ワークシート・実験の技能 | レポート | 実験の準備片付け実験に取り組む態度 |
| | 火おこし | 火おこし | a:物質が燃焼するための化学的・物理的な仕組みが理解できる。<br>b:効率よく火がつけられるように道具の作成や使用方法を考える。<br>c:火がつけられるように作成した道具や方法を試行錯誤し改善しようとすることができる。 | ワークシート・実験の技能 | レポート | 試行錯誤を繰り返しあきらめずに取り組もうとする態度 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度